

地域の歴史で作る「ふるさとキャリア教育」

主催 鳥取県教育センター・鳥取県埋蔵文化財センター

「ふるさとキャリア教育」は、当県の教育方針の柱のひとつです。そして、この「ふるさとキャリア教育」を実践するにあたり地域の歴史は欠かすことのできない教材です。しかし、地域の歴史素材は意外と知られていません。この地域の歴史素材を掘り起こし、「ふるさとキャリア教育」での活用方法を紹介する講座です。

第1回 5月7日(土) 全国も注目！鳥取の縄文・弥生遺跡

鳥取県の遺跡というと国史跡青谷上寺地遺跡、国史跡妻木晩田遺跡の弥生遺跡をすぐ思い浮かべるかもしれませんが、実は県内には約100の縄文遺跡、約200の弥生遺跡があり、他地域とも交流していたものもあります。なぜ、他地域と交流するのか？当時の社会のようすは？などをポイントに地域にある縄文・弥生遺跡を教材にした授業づくりをします。



他地域との交流を示す青谷上寺地遺跡出土の花卉高杯
北陸地方などの日本海沿岸の遺跡で出土する美しい木製の高杯



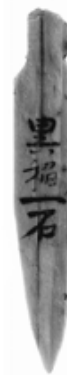
山陰最古級の前方後円墳
本高14号墳

第2回 6月4日(土) 前方後円墳から分かる地域の歴史

教科書には前方後円墳が古墳の代表かのように紹介されています。しかし、古墳は前方講演だけではありません。県内の全古墳数約13,000中、前方後円墳は約250。決して数の多くない前方後円墳が教科書に取り上げられているなぞを解きをしながら、地域にある古墳を教材にした授業づくりをします。

第3回 7月2日(土) 都を支えた奈良時代の鳥取と古代山陰道

奈良時代、平安時代は貴族中心の律令国家の時代と教科書には書かれています。律令国家では日本全国一体となって国を支えていました。では、そのような全国一体感はなぜ実現できたのでしょうか？その謎を解きながら当時の社会について遺跡や出土品を教材にした授業づくりをします。



青谷横木遺跡で出土したお米に
関係する木簡。当時お米は国家
財政を担う租という税でした。



秀吉軍に対して鳥取城への補給路
を守った丸山から鳥取城までの尾
根上の山城跡(赤線部分)

第4回 8月7日(日) 地元のお城からわかる戦国時代の鳥取

教科書の「3人の武将と天下統一」は、織田軍(羽柴秀吉)の因幡攻めを受けた当県には大きく関わりのある単元です。県内には504城もの中近世のお城があり、その中には織田軍との戦いに関係した山城も多くあり、その山城は以外に身近にあります。教科書の単元にも結びつく地元のお城を教材とした授業づくりをします。

全4回開催

会場：鳥取県埋蔵文化財センター

時間：13:30~15:30

定員：10名

※事前申込みが必要です。

右記の埋蔵文化財センターにお申込みください。

申込み先

鳥取県埋蔵文化財センター

鳥取市国府町宮下1260

TEL 0857-27-6711

FAX 0857-27-6712

<https://www.pref.tottori.lg.jp/maibun/>